

商業：財務会計 I

履修単位	3単位	学 年	2年
学科コース	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使用教科書	商業728 新財務会計 I (実教出版)		
副教材等	最新段階式簿記検定問題集 全商 1 級会計 (実教出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1 級会計 (実教出版)		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

作成された帳簿書類や報告式の貸借対照表、損益計算書といった財務諸表や連結会計などを通して、ビジネスの諸活動を数値の面から考え、経営活動の状況を見る視野や考え方を学んでいきましょう。
年間の学習を通して、各種検定試験への受験が可能です。自ら意欲的に勉学に励んでほしいです。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	会計の基礎的・基本的な考え方と技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解しているか。会計の基礎・基本的な考え方と技術を身に付け、会計情報を提供し、活用する知識と技術が身に付けているか。	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、表現する力を身に付けているか。	企業会計の意味や制度、財務会計の機能、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することに興味を持ち、財務会計の学習に積極的に取り組む態度が身に付いているか。
評 価 方 法	定期考査 単元テスト 練習問題 小テスト 等	定期考査 単元テスト 練習問題 レポート ワークシート 等	レポート ワークシート 振り返り 取組観察 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり (単元) ごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

第6章 流動資産PART 2 棚卸資産・その他の流動資産	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産の意味と種類を理解させる。 ・棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 ・棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法に習熟させる。 ・売価還元法の計算方法を理解させる。 ・当座資産・棚卸資産以外の流動資産にどのようなものがあるか、その意味と種類を理解させる。 ・その他の流動資産の各項目の会計処理を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産とその他の流動資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を正しく理解しているか。 ・売価還元法の計算方法を正しく理解しているか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産の期末評価の種類と方法について、説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。 			○	
第7章 固定資産PART 1 有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の意味と種類を理解させる。 ・有形固定資産の取得原価の計算方法を習得させる。 ・資本的支出・収益的支出の意味を明らかにし、それぞれの処理方法を習得させる。 ・有形固定資産の期末評価における減価償却の役割およびその計算方法等について理解させる。 ・固定資産の除却と買い替えの記帳について習熟させる。 ・リース取引の意味と種類を理解させる。 ・ファイナンス・リース取引における利子込み法と利子抜き法の違いについて理解させる。 ・ファイナンス・リース取引におけるリース資産の取得、リース料の支払い、減価償却の記帳について習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について正しく理解しているか。 ・資本的支出と収益的支出を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・リース取引の意味と種類を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・減価償却を行う理由と、計算方法の違いについて説明できるか。 ・リース取引の概略について説明できるか。 	○	○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。 			○	
第8章 固定資産PART 2 無形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> ・無形固定資産の意味と種類を理解させる。 ・無形固定資産の取得原価の計算方法を習得させる。 ・無形固定資産の期末評価について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・無形固定資産とはどのようなものか説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。 			○	
第9章 固定資産PART 3 投資その他の資産	<ul style="list-style-type: none"> ・投資その他の資産の意味と種類を理解させる。 ・投資その他の資産の期末評価について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資その他の資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・投資その他の資産の期末評価の方法について説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。 			○	
第10章 負債の意味と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・負債の意味について、基礎的知識を習得させる。 ・負債の分類について、基礎的知識を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・負債とはどのようなものか正しく理解しているか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・負債の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・負債の分類について、そのあらしを自ら進んで学習する態度を示しているか。 			○	
第11章 流動負債	<ul style="list-style-type: none"> ・流動負債の各項目の内容を正確に習得させる。 ・未払金と未払費用、前受金と前受収益の差異を明らかにする。 ・引当金の意味と評価性引当金・負債性引当金の区別を明らかにし、流動負債に属する引当金を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流動負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・未払金と未払費用、前受金と前受収益の違いを説明できるか。 ・引当金の性質と種類について説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。 			○	

第12章 固定負債	<ul style="list-style-type: none"> ・固定負債の各項目の内容を正確に習得させる。 ・長期借入金とリース債務について、1年以内に返済・支払いが行われる部分についての処理方法を習得させる。 ・退職給付引当金の処理方法を習得させる ・偶発債務の意味を明らかにし、他人の債務を保証した時の偶発債務について理解させる。 	・固定負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・固定負債がどのようなものか説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。				<input type="radio"/>	
第13章 純資産の意味と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の意味と分類を明らかにする。 ・株式会社の株主資本の分類および内容を理解させる。 	・純資産とはどのようなものか、正しく理解しているか。	<input type="radio"/>				
		・純資産の分類について説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・純資産の分類について、そのあらしを自ら進んで学習する態度を示しているか。				<input type="radio"/>	
第14章 資本金	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の資本金の意味と計算を習得させる。 ・資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの処理方法を習得させる。 	・資本金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・資本金の増加・減少とはどのようなものか、説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。				<input type="radio"/>	
第15章 資本剰余金	<ul style="list-style-type: none"> ・資本剰余金の意味を明らかにする。 ・資本準備金、その他資本剰余金に関する処理を理解させる。 ・会社の合併の意味とその処理を理解させる。 	・資本剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・会社の合併について、説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。				<input type="radio"/>	
第16章 利益剰余金	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金の意味を明らかにする。 ・利益準備金の計上基準について確認する。 ・任意積立金の内容と処理方法を習得させる。 ・繰越利益剰余金の内容とその処理方法を習得させる。 ・剰余金の配当の意味とその処理方法を習得させる。 	・利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・剰余金の配当の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。		<input type="radio"/>			
		・繰越利益剰余金の増加・減少について、説明できるか。		<input type="radio"/>			
第17章 自己株式	<ul style="list-style-type: none"> ・自己株式の意味を理解させる。 ・自己株式の取得・処分・消却の会計処理を習得させる。 	・自己株式の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・自己株式とはどのようなものか、説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。				<input type="radio"/>	
第18章 新株予約権	<ul style="list-style-type: none"> ・新株予約権の意味を理解させる。 ・新株予約権の発行・行使の会計処理を習得させる。 	・新株予約権の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。	<input type="radio"/>				
		・新株予約権とはどのようなものか、説明できるか。		<input type="radio"/>			
		・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。				<input type="radio"/>	

<p>第19章 貸借対照表の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 貸借対照表作成上の諸原則を明らかにし、その作成方法を習得させる。 貸借対照表に関する注記にはどのようなものがあるか理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告式の貸借対照表の作成方法について、正しく理解しているか。 貸借対照表に関する注記を正しく理解しているか。 	○			
<p>第3編 損益計算書</p> <p>第20章 損益計算書のあらまし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第3編の全体像をつかませる。 損益計算書の意味と役割を理解させる。 損益計算書の区分が、第3編の学習順序になっていることを明らかにする。 損益計算書の様式には、勘定式と報告式があることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 損益計算書の役割と区分・様式を正しく理解しているか。 	○			
<p>第21章 損益計算の意味と基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 損益計算の意味とその二つの計算方法（財産法と損益法）について十分理解させる。 収益・費用の計上時期を定める三つの認識基準（現金主義・発生主義・実現主義）、また測定基準について理解させる。 費用収益対応の原則の役割について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 損益計算の意味と基準について、正しく理解しているか。 	○			
<p>第22章 売上高</p>	<ul style="list-style-type: none"> 売上高の意味を理解させる。 売上高の計上基準と、それらに基づいた会計処理を理解させる。 工事収益の計上基準と、それぞれの処理方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 工事収益の計上基準と計算方法について、正しく理解しているか。 	○			
<p>第23章 売上原価、販売費及び一般管理費</p>	<ul style="list-style-type: none"> 売上原価の意味と計算方法を理解させる。 販売費及び一般管理費の意味を理解させる。 売上総利益、営業利益の意味と計算方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 売上原価と販売費及び一般管理費の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
<p>第24章 営業外費用・営業外収益</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経常的な損益のうち、主として財務活動から生じる営業外収益・営業外費用の内容を明らかにし、経常損益の概念を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 営業外収益と営業外費用の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> 営業外収益と営業外費用にはどのようなものがあるか、説明できるか。 		○		
		<ul style="list-style-type: none"> 本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしているか。 			○	

<p>第25章 特別利益・特別損失</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別利益・特別損失の意味と内容を明らかにし、それらの会計処理を理解させる。 ・当期純利益の概念を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別利益と特別損失の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・当期純利益の概念を正しく理解しているか。 	○			
<p>第26章 損益計算書の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書作成上の諸原則を明らかにし、その作成方法を習得させる。 ・損益計算書に関する注記にはどのようなものがあるか理解させる。 ・会社計算規則による報告式の損益計算書作成能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告式の損益計算書の作成方法について、正しく理解しているか。 ・損益計算書に関する注記を正しく理解しているか。 	○			
<p>第27章 その他の財務諸表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 ・注記表の意味を理解させる。 ・附属明細書の意味と内容を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・株主資本等変動計算書の意味を理解し、その作成ができるか。 	○			
<p>第4編 その他の会計処理</p> <p>第28章 役務収益・役務原価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役務収益・役務原価の意味を理解させる。 ・商品の販売とサービスの提供の違いについて理解させる。 ・役務収益・役務原価に関する会計処理を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役務収益と役務原価の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
<p>第29章 外貨建取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建取引の意味を理解させる。 ・円換算の意味を理解し、適切な会計処理を習得させる。 ・為替予約の会計処理を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建取引の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・円換算の意味を正しく理解しているか。 ・為替予約について、正しく理解しているか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・為替差損益の発生理由について説明できるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・本章の学習から、円安・円高の影響が実際の企業の業績にどのような影響を与えるかに興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。 	○			

<p>第30章 税効果会計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・税効果会計の意味と役割を理解させる。 ・貸倒引当金に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 ・減価償却に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 ・その他有価証券に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 ・税効果会計を適用した場合の財務諸表の表示について習熟させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税効果会計の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 	○			
<p>第5編 財務諸表の活用</p> <p>第31章 財務諸表のディスクロージャー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャーとはどのようなものか正しく理解しているか。 	○			
<p>第32章 財務諸表分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 ・関係比率法・構成比率法・趨勢法・実数法による分析の種類を明らかにし、それぞれの計算方法について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表分析の意味と方法について、正しく理解しているか。 	○			
<p>第33章 連結財務諸表のあらまし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 ・親会社と子会社の意味、さらに連結財務諸表の重要性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表とはどのようなものか正しく理解している。 ・親会社と子会社の意味を正しく理解している。 	○			
<p>発展編 連結財務諸表の作成</p> <p>第34章 連結財務諸表の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表の作成手続きを理解させる。 ・開始仕訳の必要性和意味について理解させる。 ・当期分の連結仕訳として、のれんの償却、非支配株主に帰属する当期純利益の計上、親会社と子会社相互間の債権・債務の相殺消去、親会社と子会社相互間の仕入と売上の相殺消去、未実現利益の消去、子会社の配当金の修正について理解させる。 ・連結精算表の作成を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連結財務諸表の作成方法を正しく理解しているか。 ・開始仕訳や連結修正仕訳を行うことができるか。 ・連結精算表を作成できるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・開始仕訳や連結修正仕訳がなぜ必要か説明できるか。 	○			
		<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで連結財務諸表の作成問題に取り組む態度を示しているか。 			○	